

第二十九回川柳の会」(つばやまの会)

場所 西花苑コミュニティ集会室

講師 桜井 亮先生指導

日時 九月七日(木) 一四時～十六時

定員 十五名(会員募集中) 雑詠 五句投句持参のこと
投句(短冊に書く) 浄書(きれいに書く)
選句(自分の投句を外す) 披講(選んだ理由を発表)

○投票で 一席・二席・三席決定

一席(四点句)

○蟬殻を残して七日の命かな。(林)

二席(三点句)

○螻螂の狩場提供女郎花。

三席(二点句)

- カマドウマ女三人立ち竝み。
- 飲んでる薬を見せ合う老人会。
- 出来ちゃった子供に今は世話をされ。
- 空蟬に無性の愛の亡母想う。
- 皿洗い夫の後は一度洗い。
- やせ我慢してると言うが痩せぬカーチャン。
- カナカナと鳴けば、歯痛に響くなり。
- ヒアリから思い出したDDT。



一点句

- 長生きの秘訣聞いた友早く逝き。
- 夏来たる暑さ引っぱる蟬の声。
- 紫陽花を首曲げ案内蝸牛。
- 誕生日身辺整理をする日にする。
- 取れないね原発プブリ俺プブリ。
- たった今わかっていた文字もつ忘れ。
- ハモったらもつとスチキになるお経。

無点句

- お風呂場で見るのがつらいゴムの跡。
- ネット愛会わないうちに終わる恋。
- 糖分を抜いた日本酒安倍政権。
- 水くれときゅりたらりと葉がしおれ。
- 諺が藤の柱今を生き。
- ここからは何処は行こうか蝸牛。
- 長靴や入って楽し水溜まり。
- 向日葵のランド独占はなくもり。
- 心頭を滅却しても暑い夏。
- 一日中探し物して日が暮れた。
- 花火でも核の花火は止めてくれ。
- 本箱はスマホがあつて不用品。
- くみんぐの美でる 月光「怒濤なり。」

七月十三日 川柳の会での投句です。」